

平成 25 年度第 20 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 26 年 3 月 17 日（月）16:00～16:25
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 26 年度におけるリーガル・サポートの取組について

●西村法務・文書課長（資料 1 に基づき説明）

平成 25 年 10 月に開始したリーガル・サポートの取組から見えてきた具体的な課題を踏まえて、今後の取組の方向性として、職員個人の法令習熟度の向上、所属・部局内の整備、全庁に係る整備を考えている。

来年度の具体的な取組としては、法律相談、法務研修、メールマガジン及びリーガル・サポート冊子の更なる充実を図るとともに、新たな取組としてインターネットの整備及びアンケート調査を実施したいと考えている。

●伊藤主幹

6 か月の法律相談等で職員の法への敷居は低くなったと感じている。今後は、法律相談だけでなく、研修等を通じて法的支援を行っていきたいと考えている。
（質疑等なし）

議題 2 平成 26 年度職員行動指針「五つの心得」及びコンプライアンスに関する放送について

●大橋企画課長（資料 2 に基づき説明）

来年度においても放送を引き続き実施していくこととするが、今年度の課題等をふまえ、①放送担当者を職員に対する顔の見えるメッセージ性を重視するため、知事、副知事、危機管理統括監、部局長とし、②放送時間を職員への注意喚起の効果を考え、毎月第 1・第 3 月曜日へと変更する。また、③放送内容を文書でも確認できるよう、放送終了後、内容を記載した文書をメールで各所属に送付する取組を新たに実施する。

（質疑等なし）

議題 3 派遣職員の業務報告について

●木平企画課主事（資料 3 に基づき説明）

寺島実郎氏が理事長を務める一般財団法人日本総合研究所に派遣され、「都道府県別幸福度ランキング」の発刊、高齢者の社会参画等を促す「みねるばの森 Café セミナー」、公共政策に関する業務等を担当している。「都道府県別幸福度ランキング」では、統計データ等をもとに客観的にランキング化し、行政の政策立案の支援ツールとして提案しており、事実を受け止めて改善を積み重ねることや、幸福を持続させることが重要だと感じている。「統合型リゾート（IR）」では、関連法案が国会に提出されたが、観光振興等の効果が発揮される可能性の高い地域が優先される見通しであり、地方自治体の役割が重要になると感じ

ている。今後、リニア中央新幹線の開通等を控え、「三重県が持つ地理的優位性」が大きな意味を持つてくると考える。
(質疑等なし)

議題4 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●山口戦略企画部長(資料4に基づき説明)

2月17日、3月3日、3月17日に県ホームページに公表した県民の声の概要である。

声の件数は162件で、今回は鈴鹿亀山道路に関連して実施した県政一口提案「道路整備への提案について」115件(No.38からNo.152)を併せて掲載している。主な内容では、勤務、応対等に関するもの、人事、採用、給与等に関するものが寄せられている。職員の行動等につきましては、他部局のものであっても参考にしてほしい。

(質疑等なし)